

# 理事長の頭の中

Chairman of Chitosekai Group  
by Hiromasa Hidari



VOL.195. 2022. 10月号

## 「すごい集団」

スイッチON！！10月1日にアントニオ猪木氏がお亡くなりになりました。79歳でした。

千歳会でもご縁をいただき、対談までさせていただきました。その時の印象は、眼力がとても強く吸い込まれる印象でした。

また、24時間テレビでは、現役時代のギャップを恐れず、テレビ画面での自らの闘病やメッセージを発信され、最後まで、猪木というブランドの生き方を貫き、私達に各々が感じ受けるものを頂きました。

私は、力強く生きていくことで、人生は一生燃焼なんだという想いを受け取りました。

少しの時間、猪木先生に関われたご縁と感動に感謝します。この場をお借りしてご冥福をお祈り申し上げます。

また、猪木先生のご縁から、

先月9月18日に「ちとせ稲毛」にて、秋祭りで、プロレスのイベントが開催されました！！

ちとせ稲毛は、コロナが蔓延し始めたタイミングでのOPENだったので、地域の方々やご家族様への内覧会ができず、本当にヤキモキしていた2年でした。。

そしてやっと！お披露目も兼ねて、地域の方々にイベントを通じて、千歳会の稲毛のメンバーの良さやパワーを感じてもらう機会に恵まれました！

当日はあいにくの大雨でしたが、地域交流スペースにて、リングを設置して本物のプロレスを満喫しました！イベントの主題をプロレスにした経緯は、

戦後復興の主役である施設に入居されているお客様に、当時の情熱や想いを思い出していただきたい！また、本物の現役で活躍しているプロレスラーの熱量を感じてもらい、当時のテレビでの情景を、生で見てもらいたい！そんな強い想いで、イベントの企画がスタートしました！！

イベントを通じて、千歳会が手に入れた素晴らしい果実の成果がたくさんあります。

まずは、社会福祉法人でここまで本格的にリングをつくり、プロレスラーを呼び、地域にエンターテインメントを提供する集団であること。

また、その開催に当たり、遊戯ではなく本気のイベントとしてポスター作りや、会場設営まで、介護の集団から突き抜けていること。

一人でも大きいお客様に体験してもらうための知恵を手に入れたこと。

一日のイベントのために、みんなが太っ腹で、気前のいい集団になったこと。

それぞれが、まだまだ手に入れた自信と、誇りはたくさんあると思います。

僕の感想は、伊藤施設長をはじめ、稲毛チームがこのような大きなイベントを、法人全体ではなく、一施設で成功に導いたポテンシャルに喜びを感じています。

千歳会の各施設の知恵と情熱があつまったら本当に日本一の社会福祉法人が想像できました！

あらためて、ちとせ稲毛の皆さん！イベントに協力してくれた気前のいい皆さん！

ありがとうございました！！

そして、ちとせ北本もコロナ渦での内覧会の開催ができませんでした。

ちとせ稲毛から、バトンが渡ります！ぜひ、来年スイッチONしましょう！

一人ひとりの人生を豊かに！

社会福祉法人 千歳会  
理事長 左 敬真

